

本市は「松山市下水道総合地震対策計画」に基づき、処理場・ポンプ場の耐震化対策を進めています。

西部浄化センター内の地下通路（管廊）について、令和5年7月に耐震化工事が完成しました。

耐震性能が不足していた管廊の底版に、鉄筋コンクリートを60cm増し打ち補強することで、耐震性能を確保しました。

施工前



施工後



コンクリート増し打ち補強